サイバーダイン・プレスリリース

# コスプレネーミング４０周年記念活動のお知らせ
# 『コスプレ未来博２０２５』開催提案およびコスプレの学術研究の開始

key tag ［サイバーダイン］［コスプレ未来博］［コスプレ］［コスプレ学術研究書］　　発表:2023/8/29

この度、サイバーダイン株式会社(所在地:東京都新宿区、代表:高橋信之)は、今では世界的なファン活動用語となった「コスプレ」をテーマにした未来創造展示会として再来年に向けて『コスプレ未来博』の開催を提案、また国内外でのコスプレの学術研究テーマへの協力体制を整えてゆくことを発表した。

## ■コスプレ未来博

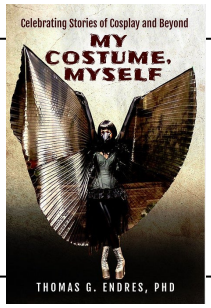
オタク、ファンに対してコスプレ活動がもたらすソーシャルコミュニケーションの形成支援、彼らによってもたらされるエンタメコンテンツやキャラクターへの広報告知効果などの効用、服飾技術や文化産業の発展、世界のファン文化の拡大、被服や造形技術、画像や映像技術、ＶＲやメタバースなどコスプレをキーとして展開するさまざまな未来モデルの展示会として「コスプレ未来博」を提案する。

具体的な活動ロードマップとしては、関係するエンタメ関連企業・団体に呼びかけてコンソーシアム(協議会)を組成し、文化芸術産業それぞれの視点から「コスプレ」の発展について提案をまとめると共に「未来博２０２５」としての展示会の開催を検討してゆく。

## ■コスプレ学術研究書

国内外の学者・研究者のコスプレの歴史、社会的効果、個人への心理的効果についての研究に対して資料提供、学術ノートの提供などを行ってゆく。
第１回活動としては、先頃、米国で刊行された学術書「マイコスチューム、マイセルフ」への献辞、資料提供を行った。同書はノースコロラド大学教授（社会学）であり文化人類学とポップカルチャーの研究者であるトーマス・Ｇ・エンドリーズ博士の著作であり、その歴史、社会的効用、個人への心理的効果などを複合的視点からまとめたもの。

Celebrating Stories of Cosplay and Beyond
**MY COSTUME, MYSELF**　KIRK HOUSE PUBULISHERS
（コスプレと未来の祝うべき物語『我がコスチューム、我が身』
カークハウス出版　ISBN 978-1-959681-09-0
トーマス・Ｇ・エンドリーズ博士／Thomas G.Endres,Ph,D




## ■コスプレのネーミング

元々、英米の演劇用語であったコスチュームプレイ（シェークスピアなどの扮装時代劇：Costume Play)を素材語として使い、これを短縮（Coin）して「コスプレ」と題した記事連載がアニメ雑誌『マイアニメ』(秋田書店）でスタートしたのが１９８３年。
これ以前に全国発売規模の商業誌でコスプレを紹介した記事連載は見つけることができない。
よって２０２３年は新語誕生４０周年となる。　　参考記事資料：http://www.hard.co.jp/cosplay_01.html
その記事連載は編集事務所スタジオ・ハード（代表：高橋信之／現・サイバーダイン株式会社代表）が担当した。

## ■コスプレイベント：COS-EXPO2023 からの運営独立

なお上記の活動に集中するため、サイバーダイン株式会社は先に発表されたコスプレ催事群 **COS-EXPO2023（コスエクスポ）**の実行委員会メンバーから離任する。ただし委員会の主要メンバーである Cosmix 社との関係は良好であり、協力要請があれば適宜、都度々々に協力してゆく。

■お問い合わせ先
サイバーダイン株式会社　〒162-0042　東京都新宿区早稲田町 74 ビューロー早稲田３Ｆ
（植木・馬詰・高橋）　Phone　03-3202-2518 Fax　03-3202-1040　press@cyberdyne.co.jp
http://www.cyberdyne.co.jp/cosfuture